

【2026 年 9 月 10 日】

送付枚数 本票含め 1 枚

報道機関 各位

臨床医学系講座と基礎医学系講座が連携

山口大学医学部附属病院に基礎・臨床融合型「膠原病センター」を設立

秋涼の候、貴社におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

山口大学医学部附属病院は、令和 7 年度文部科学省「大学病院機能強化推進事業」の一環として、新たに基礎・臨床融合型「膠原病センター」を設立し、今年度より本格的な活動を開始しております。

本センターは、佐野元昭センター長（第二内科長・教授）のもと、膠原病内科、整形外科、皮膚科、呼吸器内科、脳神経内科などの各臨床科のエキスパートに加え、薬理学、微生物学、病態検査学などの基礎医学系講座等が参画する、診療科の垣根を越えた多臓器性ネットワークを構築しています。

【主な取り組み】

- ・診療科連携を積極化した膠原病診療の試み
- ・膠原病の患者さんやご家族を対象とした、膠原病についての情報提供、普及啓発
- ・地域の医療機関、かかりつけ医を対象とした研修会、勉強会等の開催
- ・医学生や初期研修医を対象とした研修会、勉強会等の開催
- ・山口県発の膠原病の新規治療や検査方法の開発

【今後の展開】

単なる診療拠点の枠を超え、当センターではすでに以下のような革新的な研究および社会実装に向けた活動を強力に推進しています。

1. AI と「痛みセンサー」を活用した膠原病患者向け遠隔診療システムの開発

膠原病患者特有の、日内変動する「痛み」や「倦怠感」を客観的に評価するため、本院医師が独自に開発した特許出願中の「痛みセンサー」を用いた研究が進んでいます。

2. 基礎・臨床の強固な連携による革新的創薬（ドラッグリポジショニング）

臨床医学系講座と基礎医学系講座が一体となり、山口大学発の新規治療法の開発を加速させています。

3. 膠原病・リウマチ専門医の育成

現在、県内の膠原病専門医が不足している深刻な状況を打破するため、専門医の育成に注力します。

【連携診療科等】

第一内科、第二内科、第三内科、脳神経内科、呼吸器内科、感染症内科、小児科、整形外科・リウマチ科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、病態検査学講座、薬理学講座、微生物学講座

【お問い合わせ先】

山口大学医学部附属病院 広報戦略センター
〒755-8505 山口県宇部市南小串 1-1-1
TEL 0836-85-3036
FAX 0836-22-2113
E-mail me268@yamaguchi-u.ac.jp

発信者

国立大学法人山口大学
総務部総務課広報室
〒753-8511 山口市吉田 1677-1
TEL 083-933-5007
FAX 083-933-5013
E-mail sh011@yamaguchi-u.ac.jp